

## 平成 29 年度の学校目標

### 神奈川県立金沢総合高等学校

学校目標	取 組 の 内 容	
	具体的な方策	評価の観点
<p>〈教育課程・学習指導〉</p> <p>①新たな教育課程への移行を円滑に進めつつ、生徒の学習ニーズに合った時間割を編成する。</p> <p>②共通教科科目も含め、総合学科としての柔軟な学びのシステムを有効活用した成就感・達成感のある授業を展開する。</p>	<p>①平成 30 年度に向けて、卒業単位数の増加や再編された系列に対応した科目配置を行う。</p> <p>②履修ハンドブックで示した学習のねらいを達成し、主体的・対話的で深い学びを実現する授業に取り組む。</p>	<p>①生徒の履修希望を満たした平成 30 年度の時間割を編成できたか。</p> <p>②生徒による授業評価や生徒学力調査において、肯定的・積極的な数値が上がったか。</p>
<p>〈生徒指導・支援〉</p> <p>①問題行動の未然防止と充実した教育相談のさらなる継続を図る。</p> <p>②生徒の主体性とリーダー性を育てる。</p>	<p>①問題行動の未然防止と生徒に寄り添った生徒指導を職員のコンセンサスのもと行う。</p> <p>②学校行事、生徒会行事、部活動において、生徒の主体性の育成とリーダーシップを育てる。</p>	<p>①問題行動を未然に防止することができたか。また、適切な教育相談が行うことができたか。</p> <p>②生徒の主体的な活動が増えたか。また、生徒のリーダー性を発揮する場面を増やせたか。</p>
<p>〈進路指導・支援〉</p> <p>①3 年間の教育活動を通して、将来の職業選択を見据えた進路意識を育てる。</p> <p>②一人ひとりの生徒に丁寧に関わり、その進路実現を果たす。</p>	<p>①ガイダンス I では、新たな年間指導計画のもと、生徒が自らの将来を考えるより一層の取り組みを行う。ガイダンス II、III では、その取り組みの深化・充実を図る。</p> <p>②進路実現に向けて、全教員がその支援に関わり、その達成を図る。</p>	<p>①新たな取り組みが効果を上げることができたか。また、ガイダンス発表会での内容の充実が図られたか。</p> <p>②3 年次生の進路実現に向けた支援が全校態勢でできたか。また、進路決定者の割合を増やすことができたか。</p>
<p>〈地域等との協働〉</p> <p>①地域の教育力の活用を維持・発展させる。</p> <p>②生徒の防災意識を高め、地域との防災における連携を進める</p>	<p>①地域連携や高大連携、高専連携等を進め、より開かれた教育活動を展開するとともに、特色ある教育活動を発信し続ける体制を構築する。</p> <p>②生徒の主体的な防災意識を高める取り組みを進めるとともに、地域との防災における連携を具体化していく。</p>	<p>①上級学校、事業所・施設、地域等との連携を進展・継承することができたか。また、効果的な広報活動ができたか。</p> <p>②生徒による DIG 研修を実施し、防災に関する意識を高めることができたか。また、地域との連携に進展があったか。</p>
<p>〈学校管理・学校運営〉</p> <p>①業務の効率化を進める。</p> <p>②事故・不祥事を出さない。</p>	<p>①グループ業務の見直しを踏まえ、その成果を検証するとともに、業務アシスタントの導入の効果を上げ、業務の効率化を図る。</p> <p>②事故・不祥事の防止に向けて、不断の啓発や環境整備を進め、併せて適正な会計執行を継続する。</p>	<p>①業務の効率化が進んだと職員が思えるか。</p> <p>②事故・不祥事の未然防止ができたか。</p>